

トピックス topics

第13号
H19.6

- p2 ◆農地パトロールの結果まとまる
◆土地利用の団地化に向けて、集落で話し合いを
- p3 ◆農委会長会議と担当者会議を開催
◆農林水産業ジョブカフェを開設
- p4 ◆会議員の異動、常任会議だより、ほか

京 農 業 会 議 都 だ よ り



発行 京都府農業会議
〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内
TEL: 075 (441) 3660 e-mail: k_noukai@agr-k.or.jp



全国から約2千人の農業委員会会長が参加した



内容の要請を
行いま
した。

大会では、「WTO農業交渉ならびにEPA/FTA交渉に関する特別要請」、「活力ある農業・農村の再生に向けた政策提案」、「農地政策の再構築に向けた提案」などが決議されました。

大会終了後、京都府代表団は議員会館に京都府選出国會議員（計8人）を訪ね、決議内容の要請を行いました。



また、大会に先立ち、全国農業会議所と各都道府県農業会議の職員が、JR東京駅・有楽町駅周辺で農業委員会活動をPRするチラシを配布しました。

▼大会に参加した農業委員会会長は次の通り（敬称略）。

溝川幸雄（京都市・本会議副会長）、五十棲正孝（向日市）、大西猛（井手町）、坂本俊廣（笠置町）、吉見徳寛（南丹市）、菊田哲夫（福知山市）、宇野明忠（京丹後市）。

※本会議からは、草木慶治会長らが随行しました。

5月26日、東京の日比谷公会堂で「平成19年度全国農業委員会会長大会」（全国農業会議所主催）が開かれ、京都府から溝川幸雄氏（京都市農業委員会会長）ら7人の農業委員会代表者が参加しました。

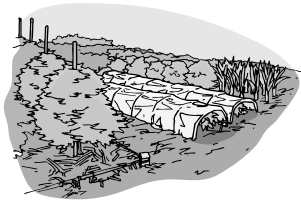
農委会長らが地元農家の声を国会議員に伝える 全国農委会会長大会

▶▶▶ 農地パトロールの結果まとまる

平成18年度「土地と農業を守り、 農地の有効利用を進める運動」



遊休農地のパトロールを行う亀岡市農業委員会



平成18年度の「土地と農業を守り、農地の有効利用を進める運動」は、各委員会で農地パトロール、遊休農地の実態把握を中心に取り組んでいたいただきました。

農地パトロールはほぼすべての農業委員会で取り組まれた結果、府内全体で無断転用28件など、合計88件の問題案件が確認され、是正指導が行われました。

また、遊休農地については、平成17年度に実施した一斉調査の結果をもとに18委員会が補完調査を行い、そのうち59筆(約3ha)が農業委員会の指導により解消されました。

このほか、農業委員さんが担当地域の取り組みに参加するなど、今年度につながる成果がありました。

平成19年度

土地利用の団地化に向けて、 集落で話し合いを

農業委員会は、農地の利用実態を正確に把握できる唯一の機関として、遊休農地対策や担い手への団地的利用集積でリーダーシップを発揮することが期待されています。今後の土地利用は、担い手が存在する集落だけでなく、担い手不足の集落で周辺地域から新しい担い手を呼び込む場合にも、農地利用を団地的にまとめることが課題となっています。

このため、平成19年度の「土地と農業を守り、農地の有効利用を進める運動」では、農地パトロールの強化に加えて、団地的土地利用に向けて、集落での話し合いを活発にすることを提起しています。

その際には、今年度からスタートした「担い手活用農地バンクシステム整備事業」や「農地・水・環境保全向上対策」を最大限に活用することや、農業委員さんが地域の活動に積極的に参画しリーダーシップを発揮していくことがポイントになります。

農業委員会と農業委員さん1人ひとりの御奮闘をよろしく願います。

農委会会長会議と担当者会議を開催

19年度 遊休農地対策や農政活動で「地域の期待に応える活動」を!

京都府農業会議は、6月12日と19日の両日、京都市内で農業委員会担当者会議と会長会議をそれぞれ開催し、今年度の活動の重点事項を協議しました。両会議で農業会議から農業委員会に提起した主な内容は、左の囲みの通りです。

各農業委員会で、「土地と農業を守り、農地の有効利用を進める運動」を推進するほか、集落座談会や担い手との懇談会で農業者の意見・要望を集めて市町村長につなぐ活動を推進していくことなどが確認されました。

会長会議 (6/19) で提起した内容

- (1) 農地を守り活かす取り組み (土地と農業を守る運動)
 - 遊休農地情報を整備 (補充調査等) し、関係機関に提供する
 - 新たな課題に対応して農地パトロールの実施方法を改善する
- (2) 農家や集落の要望に基づいた政策提案活動を推進する
 - 集落座談会や担い手懇談会で農家の声を集めて市町村長につなぐ
- (3) 担い手の支援
 - 地域担い手育成総合支援協議会に参画し、農業の担い手を支援する
 - 農業者年金の加入者を増やすため、推進体制を整備する
- (4) 広域化に伴う活動体制の整備と予算の確保
 - 地域に根ざした活動のため、農業委員や協力員の研修を強化する
 - 担い手アクションサポート事業や強い農業づくり交付金を活用する
- (5) 全国農業新聞の普及拡大
 - 目標達成に向けて農業委員全員が購読依頼に取り組む

重点目標と活動計画を定め、推進体制の確立を

農業会議は、「地域の期待に応える農業委員会活動」をめざすために、各農業委員会で今年度の重点目標を話し合い、「年間活動計画」を作ることを提起しました。さらに、農業委員が担当地域に出向いて農業者の要望を聞き、市町村の施策に反映させる農政活動や、農業委員会の広域化に対応した協力員の設置についても訴えました。

また、遊休農地の現地確認や解消活動に取り組むため、国直轄採択事業 (担い手アクションサポート事業) や強い農業づくり交付金 (担い手活用農地バンクシステム整備事業) の積極的な活用を呼びかけました。これから各委員会での取り組みが本格化します。農業会議も全力をあげて農業委員会を支援していきます。

農林水産業

ジョブカフェを開設

2か月で89件の

相談に対応

「農林水産業ジョブカフェ」は、府内での新規就農と田舎ぐらしの相談窓口として、4月3日、京都テルサ (京都市南区) に開設されました。

新規就農や農村移住をめざす都市民の相談業務を行っており、開設から5月末までの2ヶ月間に、89件の相談に対応しています。内訳は、新規就農相談が76件、田舎暮らし相談が13件です。

京都府での就業・就職相談の総合窓口である「京都ジョブパーク」内に設置されたこともあり、再就職をめざす30代、50代の相談者が多いようです。

農林水産業ジョブカフェ

京都市南区東九条

京都テルサ西館3F

(TEL075-682-1800)

相談受付: 日曜・祝日を除く

午前9時〜午後5時

総会だより

第95回総会(3月)

農業会議の事業計画や予算等を協議・決定しました。内容は次の通りです。

来賓祝辞

- ① 麻生副知事
- ② 酒井府議会議長

表彰

農業委員会広報コンクール表彰

議事

- ① 平成18年度「補正予算」を決定
- ② 平成19年度「事業計画」を決定
- ③ 平成19年度「予算」を決定

会議員等の異動

〔1号会議員〕

〔与謝野町〕

新任 三田 彌壽信 (6月6日)
 退任 江原 郁夫

〔6号常任会議員〕

新任 奥田 光治 (3月22日)
 ※宇治田原町長

常任会議だより

農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

第305回常任会議(3月22日)

協議

- ① 第95回総会の運営について

第306回常任会議(4月25日)

協議

- ① 「今後の農地政策の方向等の検討」報告(案)について

報告

- ① 農地・水・環境保全向上対策の取り組みについて

第307回常任会議(5月23日)

報告

- ① 平成18年度における農業委員会の取り組み状況について
 ― 農地パトロール等の結果 ―

【農地法諮問案件の審議件数 (3~5月)】

第4条23件	15,356.31㎡
第5条82件	82,407.03㎡
計105件	97,763.34㎡

出版案内

【おすすめ図書】

『三訂 わかりやすい農地転用許可制度の手引』

● 農地転用許可制度の仕組みと運用の原則をわかりやすく紹介。農業委員に必携の一冊です。



コード19-05 800円

● 『平成19年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制』
 日常の農家相談活動に役立ちます！



コード19-02 700円

『プロに学ぶ農産物販売のワザと極意』

● すぐに誰でもできるアイデアがいっぱい。わかりやすいカラー版で、経営に役立ちます。



コード19-03 1,000円

※お問い合わせは農業委員会事務局又は農業会議まで

今後のスケジュール(予定)

- ▼ 第308回常任会議 (6/28)
- ▼ 第309回常任会議 (7/25)
- ▼ 第310回常任会議 (8/22)
- ▼ 第96回総会 (8/22)

